第４章　個別施設計画

１－２　行政系施設（消防施設）

NO.	施設名称	NO.	施設名称
1	美馬市消防本部	26	脇町方面隊分団詰所（旧西部 4 分団）
2	脇町方面隊第 1 分団詰所	27	脇町方面隊分団詰所（旧西部 5 分団）
3	脇町方面隊第 2 分団詰所	28	脇町方面隊分団詰所（旧西部 5）木の内
4	脇町方面隊第 3 分団詰所・落合集会所	29	脇町方面隊分団詰所（旧西部 7 分団）
5	脇町方面隊第 4 分団詰所	30	穴吹方面隊第 1 分団詰所
6	脇町方面隊 4 分団（椚野生活改善センター敷地内）	31	穴吹方面隊第 2 分団詰所
7	脇町方面隊第 5 分団詰所（旧中部 6 分団）	32	穴吹方面隊第 3 分団詰所
8	脇町方面隊第 6 分団詰所	33	穴吹方面隊第 4 分団詰所
9	脇町方面隊第 7 分団詰所	34	穴吹方面隊第 4 分団車庫
10	脇町方面隊第 7 分団格納庫	35	穴吹方面隊第 5 分団車庫
11	脇町方面隊第 8 分団詰所	36	穴吹方面隊分団詰所（旧市場詰所）
12	脇町方面隊第 9 分団詰所	37	穴吹方面隊分団詰所（旧初草詰所）
13	脇町方面隊第 10 分団詰所	38	穴吹方面隊分団格納庫（旧調子野格納庫）
14	脇町方面隊分団詰所（旧東部 2 分団）	39	穴吹方面隊分団詰所（旧古宮詰所）
15	脇町方面隊分団詰所（旧東部 4 分団）	40	穴吹方面隊分団詰所（旧小谷詰所）
16	脇町方面隊分団詰所（旧東部 5 分団）	41	空野前進基地局
17	脇町方面隊分団詰所（旧東部 6 分団）	42	美馬市消防署木屋平出張所
18	脇町方面隊分団詰所（旧東部 6 分団）	43	木屋平消防団（旧川井格納庫）
19	脇町方面隊分団詰所（旧東部 8 分団）	44	木屋平消防団（旧川上格納庫）
20	脇町方面隊分団詰所（旧東部 9 分団）	45	木屋平消防団（旧太合格納庫）
21	脇町方面隊分団詰所（旧中部 2 分団）	46	木屋平消防団（旧樫原格納庫）
22	脇町方面隊分団格納庫(旧中部 3 分団)	47	木屋平消防団（旧三ツ木格納庫）
23	脇町方面隊分団詰所（旧中部 5 分団）	48	大北前進基地局
24	脇町方面隊分団詰所（旧中部 8 分団）		
25	脇町方面隊分団詰所（旧西部 1 分団）		

１-２　行政系施設（消防施設）

（１）施設概要

施設名称	美馬市消防本部	所属課	消防本部
類型	行政系施設	種別	消防施設
所在地	脇町字拝原 1742 番地 1	総延床面積（㎡）	1,740.98

（２）施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積（㎡）	構造	建築年度	新・旧耐震基準 耐震化等工事
庁舎	1,273.38	RC 造	平成 6 年度	新
美馬地区消防指令センター	208.60	S 造	平成 26 年度	新
訓練施設	175.00	S 造	平成 28 年度	新

（３）基本的な方針等

管理上の課題	本施設は、築 24 年経過しており、外壁や床面に劣化があり、設備についても交換等の対応が必要である。また、総務省より女性消防吏員の採用を求められており、女性用の仮眠室やシャワー室等の施設の増築も必要となる。
基本的な方針	計画的かつ適切な方法により維持管理を行う。
基本的な考え方	可能な限り長期間使用するため、施設に老朽化等が確認されてから対応する事後保全ではなく、計画的な予防保全の考え方を導入し、適切な維持管理・修繕等を推進する。
計画期間	―

（４）現地画像

庁舎		美馬地区消防 指令センター	
訓練施設		庁舎屋上	

（１）施設概要

施設名称	脇町方面隊第１分団詰所	所属課	消防本部
類型	行政系施設	種別	消防施設
所在地	脇町字拝原 2599 番地	総延床面積（㎡）	69.00

（２）施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積（㎡）	構造	建築年度	新・旧耐震基準 耐震化等工事
詰所	69.00	木造	平成 11 年度	新

（３）基本的な方針等

管理上の課題	施設や設備の一部に老朽化等が見受けられるものの、至急対応が必要な状況ではない。
基本的な方針	計画的かつ適切な方法により維持管理を行う。
基本的な考え方	可能な限り長期間使用するため、施設に老朽化や劣化が確認されてから対応する事後保全ではなく、計画的な予防保全の考え方を導入し、今後適切な維持管理・修繕等を推進する。
計画期間	－

（４）現地画像

施設全景		雨樋に植生あり	
施設内部		車庫 天井	

（１）施設概要

施設名称	脇町方面隊第２分団詰所	所属課	消防本部
類型	行政系施設	種別	消防施設
所在地	脇町字拝原 40 番地 280	総延床面積（㎡）	129.96

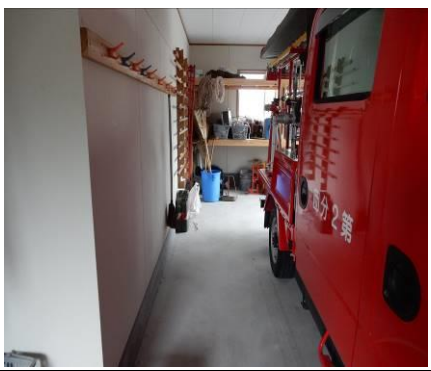
（２）施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積（㎡）	構造	建築年度	新・旧耐震基準 耐震化等工事
詰所	129.96	S 造	平成 27 年度	新

（３）基本的な方針等

管理上の課題	建築から１年程度であるため、至急対応が必要な状況ではない。
基本的な方針	計画的かつ適切な方法により維持管理を行う。
基本的な考え方	可能な限り長期間使用するため、施設に老朽化や劣化が確認されてから対応する事後保全ではなく、計画的な予防保全の考え方を導入し、今後適切な維持管理・修繕等を推進する。
計画期間	－

（４）現地画像

施設全景		施設内部	
台所		車庫	

（１）施設概要

施設名称	脇町方面隊第 3 分団詰所・落合集会所	所属課	消防本部
類型	行政系施設	種別	消防施設
所在地	脇町西赤谷 2230 番地 6	総延床面積（㎡）	292.00

（２）施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積（㎡）	構造	建築年度	新・旧耐震基準 耐震化等工事
詰所	292.00	木造	昭和 50 年度	旧

（３）基本的な方針等

管理上の課題	本施設は、未耐震であり老朽化した施設である。今後、耐震化等を実施するのか判断する必要がある。その際、本施設の大部分を占める集会所部分にも影響があるため、担当課と協議する必要がある。
基本的な方針	計画的かつ適切な方法により維持管理を行う。
基本的な考え方	可能な限り長期間使用するため、施設に老朽化や劣化が確認されてから対応する事後保全ではなく、計画的な予防保全の考え方を導入し、今後適切な維持管理・修繕等を推進する。
計画期間	－

（４）現地画像

施設全景		車庫	
車庫		車庫	

（１）施設概要

施設名称	脇町方面隊第 4 分団詰所	所属課	消防本部
類型	行政系施設	種別	消防施設
所在地	脇町字東俣名 246 番地	総延床面積（㎡）	23.00

（２）施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積（㎡）	構造	建築年度	新・旧耐震基準 耐震化等工事
詰所	23.00	木造	平成 20 年度	新

（３）基本的な方針等

管理上の課題	本施設は、詰所ではなく車両格納庫が実態である。現在、詰所としては椚野生活改善センターを間借りしているが、車両を格納している本施設から距離があり、非常に利便性が悪い状況である。また、本施設は、土地貸借契約を行っており、毎年土地の使用料がかかっている状況である。
基本的な方針	計画的かつ適切な方法により維持管理を行う。
基本的な考え方	可能な限り長期間使用するため、施設に老朽化や劣化が確認されてから対応する事後保全ではなく、計画的な予防保全の考え方を導入し、今後適切な維持管理・修繕等を推進する。
計画期間	―

（４）現地画像

施設全景		施設外部	
台所		車庫	

（１）施設概要

施設名称	脇町方面隊 4 分団（椚野生活改善センター敷地内）	所属課	消防本部
類型	行政系施設	種別	消防施設
所在地	脇町字東俣名 410 番地 2	総延床面積（㎡）	10.00

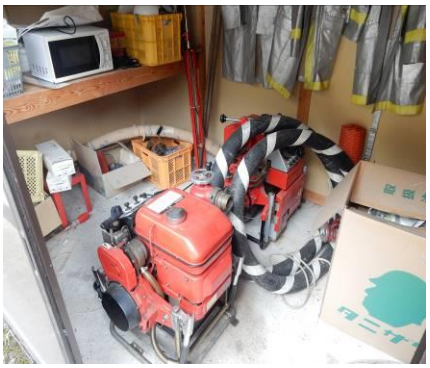
（２）施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積（㎡）	構造	建築年度	新・旧耐震基準 耐震化等工事
倉庫	10.00	木造	不明	不明

（３）基本的な方針等

管理上の課題	施設や設備の一部に老朽化等が見受けられるものの、至急対応が必要な状況ではない。
基本的な方針	計画的かつ適切な方法により維持管理を行う。
基本的な考え方	可能な限り長期間使用するため、施設に老朽化や劣化が確認されてから対応する事後保全ではなく、計画的な予防保全の考え方を導入し、今後適切な維持管理・修繕等を推進する。
計画期間	－

（４）現地画像

施設全景		施設外部	
施設内部		天井	

（１）施設概要

施設名称	脇町方面隊第 5 分団詰所（旧中部 6 分団）	所属課	消防本部
類型	行政系施設	種別	消防施設
所在地	脇町大字猪尻字西上野 49 番地 1 付近	総延床面積（㎡）	43.00

（２）施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積（㎡）	構造	建築年度	新・旧耐震基準 耐震化等工事
詰所	43.00	木造	不明	不明

（３）基本的な方針等

管理上の課題	本施設は、建築年度が不明であった旧中部 6 分団詰所を平成 21 年に増改築した施設である。トイレ、駐車スペースがないため、現在も統合前の旧中部 5 分団詰所を使用しており、本施設はほぼ倉庫としてのみ使用している状況である。
基本的な方針	計画的かつ適切な方法により維持管理を行う。
基本的な考え方	可能な限り長期間使用するため、施設に老朽化や劣化が確認されてから対応する事後保全ではなく、計画的な予防保全の考え方を導入し、今後適切な維持管理・修繕等を推進する。
計画期間	－

（４）現地画像

施設全景		施設内部 2 階	
施設内部 2 階天井		車庫	

（１）施設概要

施設名称	脇町方面隊第 6 分団詰所	所属課	消防本部
類型	行政系施設	種別	消防施設
所在地	脇町大字北庄字柴床 91 番地 3	総延床面積（㎡）	70.00

（２）施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積（㎡）	構造	建築年度	新・旧耐震基準 耐震化等工事
詰所	42.00	木造	昭和 61 年度	新
車庫	28.00	S 造	平成 21 年度	新

（３）基本的な方針等

管理上の課題	施設や設備の一部に老朽化等が見受けられるものの、至急対応が必要な状況ではない。
基本的な方針	計画的かつ適切な方法により維持管理を行う。
基本的な考え方	可能な限り長期間使用するため、施設に老朽化や劣化が確認されてから対応する事後保全ではなく、計画的な予防保全の考え方を導入し、今後適切な維持管理・修繕等を推進する。
計画期間	－

（４）現地画像

施設全景 詰所（右） 車庫（左）		詰所内部	
台所		車庫	

（１）施設概要

施設名称	脇町方面隊第 7 分団詰所	所属課	消防本部
類型	行政系施設	種別	消防施設
所在地	脇町大字脇町字佐尾原 1391 番地 13 付近	総延床面積（㎡）	51.00

（２）施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積（㎡）	構造	建築年度	新・旧耐震基準 耐震化等工事
詰所	51.00	木造	平成 20 年度	新

（３）基本的な方針等

管理上の課題	本施設は、河川敷に建設されているため、定期的に土地占有届を県へ提出する必要がある。
基本的な方針	計画的かつ適切な方法により維持管理を行う。
基本的な考え方	可能な限り長期間使用するため、施設に老朽化や劣化が確認されてから対応する事後保全ではなく、計画的な予防保全の考え方を導入し、今後適切な維持管理・修繕等を推進する。
計画期間	－

（４）現地画像

施設全景		雨樋に破損あり	
施設内部		台所	

（１）施設概要

施設名称	脇町方面隊第 7 分団格納庫	所属課	消防本部
類型	行政系施設	種別	消防施設
所在地	脇町大字脇町字佐尾原 1391 番地 13 付近	総延床面積（㎡）	38.88

（２）施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積（㎡）	構造	建築年度	新・旧耐震基準 耐震化等工事
格納庫	38.88	S 造	不明	不明

（３）基本的な方針等

管理上の課題	本施設は、河川敷に建設されているため、定期的に土地占有届を県へ提出する必要がある。
基本的な方針	計画的かつ適切な方法により維持管理を行う。
基本的な考え方	可能な限り長期間使用するため、施設に老朽化や劣化が確認されてから対応する事後保全ではなく、計画的な予防保全の考え方を導入し、今後適切な維持管理・修繕等を推進する。
計画期間	－

（４）現地画像

施設全景		雨樋に破損あり	
施設内部		天井	

（１）施設概要

施設名称	脇町方面隊第８分団詰所	所属課	消防本部
類型	行政系施設	種別	消防施設
所在地	脇町新町 327 番地	総延床面積（㎡）	20.00

（２）施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積（㎡）	構造	建築年度	新・旧耐震基準 耐震化等工事
詰所	20.00	S 造	平成 19 年度	新

（３）基本的な方針等

管理上の課題	本施設は、格納庫のみであり休憩スペースがないため、詰所としての機能は隣接する新町集会所を間借りしている。また、今後除去予定の旧西部１分団のホース干しを使用しているためホースポールの新設も必要である。
基本的な方針	計画的かつ適切な方法により維持管理を行う。
基本的な考え方	可能な限り長期間使用するため、施設に老朽化や劣化が確認されてから対応する事後保全ではなく、計画的な予防保全の考え方を導入し、今後適切な維持管理・修繕等を推進する。
計画期間	－

（４）現地画像

施設全景		施設外部	
施設内部		天井	

（１）施設概要

施設名称	脇町方面隊第 9 分団詰所	所属課	消防本部
類型	行政系施設	種別	消防施設
所在地	脇町岩倉字油免 2900 番地 1	総延床面積（㎡）	56.00

（２）施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積（㎡）	構造	建築年度	新・旧耐震基準 耐震化等工事
詰所	56.00	木造	昭和 54 年度	旧

（３）基本的な方針等

管理上の課題	本施設の内装は、平成 17 年頃に改修済みであるが、その他は老朽化が進んでいる。
基本的な方針	計画的かつ適切な方法により維持管理を行う。
基本的な考え方	可能な限り長期間使用するため、施設に老朽化や劣化が確認されてから対応する事後保全ではなく、計画的な予防保全の考え方を導入し、今後適切な維持管理・修繕等を推進する。
計画期間	－

（４）現地画像

施設全景		施設内部	
台所		車庫	

（１）施設概要

施設名称	脇町方面隊第 10 分団詰所	所属課	消防本部
類型	行政系施設	種別	消防施設
所在地	脇町字小星 543 番地 1、545 番地 2	総延床面積（㎡）	53.00

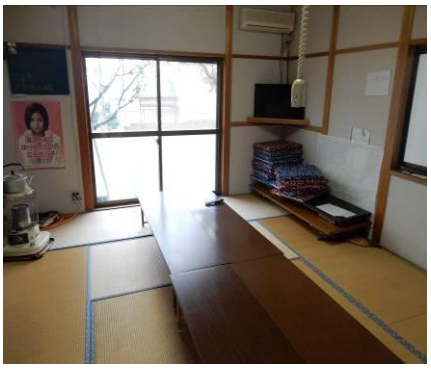
（２）施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積（㎡）	構造	建築年度	新・旧耐震基準 耐震化等工事
詰所	53.00	木造	平成 8 年度	新

（３）基本的な方針等

管理上の課題	本施設は、詰所として使用可能であるが、消防団統合後も増築等をおこなっていないため、分団員数に対してスペースが狭い状況である。消防団員から建て替え等の要望が出されている状況である。
基本的な方針	計画的かつ適切な方法により維持管理を行う。
基本的な考え方	可能な限り長期間使用するため、施設に老朽化や劣化が確認されてから対応する事後保全ではなく、計画的な予防保全の考え方を導入し、今後適切な維持管理・修繕等を推進する。
計画期間	―

（４）現地画像

施設全景		雨樋に破損あり	
施設内部		車庫	

（１）施設概要

施設名称	脇町方面隊分団詰所(旧東部２分団)	所属課	消防本部
類型	行政系施設	種別	消防施設
所在地	脇町字拝原 2005 番地 1	総延床面積（㎡）	15.00

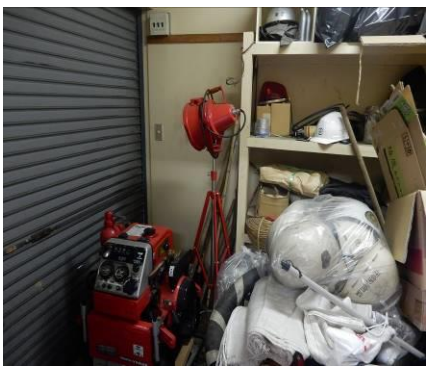
（２）施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積（㎡）	構造	建築年度	新・旧耐震基準 耐震化等工事
詰所	15.00	木造	昭和 60 年度	旧

（３）基本的な方針等

管理上の課題	本施設は、老朽化が進んでいるが消防分団での使用があるため、継続して使用する。
基本的な方針	計画的かつ適切な方法により維持管理を行う。
基本的な考え方	可能な限り長期間使用するため、施設に老朽化や劣化が確認されてから対応する事後保全ではなく、計画的な予防保全の考え方を導入し、今後適切な維持管理・修繕等を推進する。
計画期間	－

（４）現地画像

施設全景		施設内部	
天井に漏水の痕跡あり 天井板に剥離あり		車庫	

（１）施設概要

施設名称	脇町方面隊分団詰所(旧東部４分団)	所属課	消防本部
類型	行政系施設	種別	消防施設
所在地	脇町字拝原 388 番地 2	総延床面積（㎡）	33.90

（２）施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積（㎡）	構造	建築年度	新・旧耐震基準 耐震化等工事
詰所	33.90	木造	昭和 51 年度	旧

（３）基本的な方針等

管理上の課題	本施設は、今後、水防倉庫として使用するが、警鐘台は老朽化しており、近隣に民家があることから撤去する必要がある。
基本的な方針	計画的かつ適切な方法により維持管理を行う。
基本的な考え方	可能な限り長期間使用するため、施設に老朽化や劣化が確認されてから対応する事後保全ではなく、計画的な予防保全の考え方を導入し、今後適切な維持管理・修繕等を推進する。
計画期間	－

（４）現地画像

施設全景		施設外部	
施設外部		基礎部分に亀裂あり	

（１）施設概要

施設名称	脇町方面隊分団詰所(旧東部５分団)	所属課	消防本部
類型	行政系施設	種別	消防施設
所在地	脇町字曽江名 873 番地 4	総延床面積（㎡）	63.00

（２）施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積（㎡）	構造	建築年度	新・旧耐震基準 耐震化等工事
詰所	63.00	木造	平成 2 年度	新

（３）基本的な方針等

管理上の課題	現在、消防団の利用はない。
基本的な方針	譲渡や民間活用等の検討を行う。
基本的な考え方	本施設は、現在、消防団の利用がなく、地元等に施設の譲渡等を行い、利活用を検討する。
計画期間	第 4 期マネジメント計画期間

（４）現地画像

<table>
<tr><td>施設全景</td><td> </td><td>車庫</td><td> </td></tr>
<tr><td>施設内部
2 階</td><td> </td><td>施設内部
2 階台所</td><td> </td></tr>
</table>

（１）施設概要

施設名称	脇町方面隊分団詰所(旧東部６分団)	所属課	消防本部
類型	行政系施設	種別	消防施設
所在地	脇町字西赤谷 2255 番地 24	総延床面積（㎡）	15.04

（２）施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積（㎡）	構造	建築年度	新・旧耐震基準 耐震化等工事
詰所	15.04	木造	昭和 59 年度	新

（３）基本的な方針等

管理上の課題	本施設に隣接する棚田集会所の倉庫として使用したいと要望があるため、譲渡を行う。
基本的な方針	譲渡や民間活用等の検討を行う。
基本的な考え方	譲渡の要望があるため、譲渡を行う。
計画期間	第１期マネジメント計画期間

（４）現地画像

施設全景		地盤の沈下あり	
施設内部		床材に亀裂あり	

（１）施設概要

施設名称	脇町方面隊分団詰所(旧東部６分団)	所属課	消防本部
類型	行政系施設	種別	消防施設
所在地	脇町字西赤谷 216 番地 10 付近	総延床面積（㎡）	32.00

（２）施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積（㎡）	構造	建築年度	新・旧耐震基準 耐震化等工事
詰所	32.00	木造	不明	不明

（３）基本的な方針等

管理上の課題	本施設は、現在、消防団の利用はない。
基本的な方針	利活用等の検討を行う。
基本的な考え方	本施設は、現在、消防団の利用はないが、地元で利活用の可能性を検討する。
計画期間	第２期マネジメント計画期間

（４）現地画像

施設全景		施設外部	
施設内部		天井	

（１）施設概要

施設名称	脇町方面隊分団詰所（旧東部８分団）	所属課	消防本部
類型	行政系施設	種別	消防施設
所在地	脇町字西俣名 434 番地 2	総延床面積（㎡）	26.00

（２）施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積（㎡）	構造	建築年度	新・旧耐震基準 耐震化等工事
詰所	26.00	S 造	昭和 50 年度	旧

（３）基本的な方針等

管理上の課題	施設や設備の一部に老朽化等が見受けられるものの、至急対応が必要な状況ではない。
基本的な方針	計画的かつ適切な方法により維持管理を行う。
基本的な考え方	可能な限り長期間使用するため、施設に老朽化や劣化が確認されてから対応する事後保全ではなく、計画的な予防保全の考え方を導入し、今後適切な維持管理・修繕等を推進する。
計画期間	－

（４）現地画像

施設全景		施設内部	
天井		軒天 水侵入の痕跡 あり	

（１）施設概要

施設名称	脇町方面隊分団詰所(旧東部９分団)	所属課	消防本部
類型	行政系施設	種別	消防施設
所在地	脇町字西俣名 1145 番地 1	総延床面積（㎡）	20.00

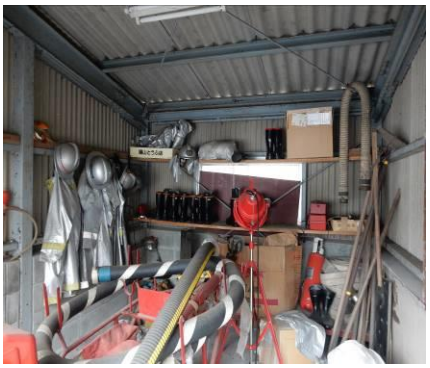
（２）施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積（㎡）	構造	建築年度	新・旧耐震基準 耐震化等工事
詰所	20.00	S 造	不明	不明

（３）基本的な方針等

管理上の課題	本施設は、隣接する集会所とともに清水小学校跡地に移転の要望がある。
基本的な方針	施設の建て替え・複合化・集約化等の検討を行う。
基本的な考え方	本施設は、清水小学校跡地に移転した場合、除却を行う。
計画期間	第 2 期マネジメント計画期間

（４）現地画像

施設全景		施設外部	
施設内部		天井	

（１）施設概要

施設名称	脇町方面隊分団詰所（旧中部２分団）	所属課	消防本部
類型	行政系施設	種別	消防施設
所在地	脇町大字脇町字北島 1237 番地２	総延床面積（㎡）	48.00

（２）施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積（㎡）	構造	建築年度	新・旧耐震基準 耐震化等工事
詰所	48.00	木造	平成 14 年度	新

（３）基本的な方針等

管理上の課題	本施設は、現在、備蓄倉庫として使用されているが、ホースポールの撤去が必要である。
基本的な方針	利活用等の検討を行う。
基本的な考え方	本施設は、地元より非常用食料等の備蓄倉庫として使用したいという要望があり、現在は備蓄倉庫として機能している。今後、危機管理室へ所管替えが必要である。
計画期間	第１期マネジメント計画期間

（４）現地画像

施設全景		軒天 水侵入の痕跡 あり	
施設外部		地盤の亀裂	

（１）施設概要

施設名称	脇町方面隊分団格納庫（旧中部３分団）	所属課	消防本部
類型	行政系施設	種別	消防施設
所在地	脇町大字脇町字佐尾原 1525 番地	総延床面積（㎡）	11.70

（２）施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積（㎡）	構造	建築年度	新・旧耐震基準 耐震化等工事
格納庫	11.70	木造	昭和 58 年度	新

（３）基本的な方針等

管理上の課題	施設や設備の一部に老朽化等が見受けられるものの、至急対応が必要な状況ではない。
基本的な方針	計画的かつ適切な方法により維持管理を行う。
基本的な考え方	可能な限り長期間使用するため、施設に老朽化や劣化が確認されてから対応する事後保全ではなく、計画的な予防保全の考え方を導入し、今後適切な維持管理・修繕等を推進する。
計画期間	－

（４）現地画像

施設全景		屋根 屋根材に劣化あり	
施設内部		天井	

（１）施設概要

施設名称	脇町方面隊分団詰所（旧中部５分団）	所属課	消防本部
類型	行政系施設	種別	消防施設
所在地	脇町大字猪尻字西分 25 番地 1	総延床面積（㎡）	50.96

（２）施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積（㎡）	構造	建築年度	新・旧耐震基準 耐震化等工事
詰所	50.96	CB 造	昭和 46 年度	旧

（３）基本的な方針等

管理上の課題	本施設は、脇町方面隊第 5 分団詰所の代替施設として、使用している状況である。
基本的な方針	施設の建て替え・複合化・集約化等の検討を行う。
基本的な考え方	本施設は、消防団統合後、脇町方面隊第 5 分団詰所にトイレ及び駐車スペースがないことから、未だに本施設を使用している状態である。脇町方面隊第 5 分団詰所にトイレ等を設置し、本施設の廃止を検討している。
計画期間	第 2 期マネジメント計画期間

（４）現地画像

施設全景		車庫	
施設内部		基礎の亀裂	

（１）施設概要

施設名称	脇町方面隊分団詰所(旧中部８分団)	所属課	消防本部
類型	行政系施設	種別	消防施設
所在地	脇町字小森９番地１	総延床面積（㎡）	37.71

（２）施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積（㎡）	構造	建築年度	新・旧耐震基準 耐震化等工事
詰所	37.71	木造	昭和 40 年度	旧

（３）基本的な方針等

管理上の課題	消防団の使用はあるものの施設は老朽化している。
基本的な方針	計画的かつ適切な方法により維持管理を行う。
基本的な考え方	可能な限り長期間使用するため、施設に老朽化や劣化が確認されてから対応する事後保全ではなく、計画的な予防保全の考え方を導入し、今後適切な維持管理・修繕等を推進する。
計画期間	－

（４）現地画像

施設全景		施設外部 外壁に植物あり	
施設内部		車庫	

（１）施設概要

施設名称	脇町方面隊分団詰所（旧西部１分団）	所属課	消防本部
類型	行政系施設	種別	消防施設
所在地	脇町新町字新町 366 番地 3	総延床面積（㎡）	52.25

（２）施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積（㎡）	構造	建築年度	新・旧耐震基準 耐震化等工事
詰所	52.25	木造	昭和 40 年度	旧

（３）基本的な方針等

管理上の課題	老朽化が進んでいる状況である。
基本的な方針	除却等を行う。
基本的な考え方	格納庫付近にホースポールを設置し、本施設は除却する。
計画期間	第 1 期マネジメント計画期間

（４）現地画像

施設全景		車庫	
施設内部		台所	

（１）施設概要

施設名称	脇町方面隊分団詰所(旧西部４分団)	所属課	消防本部
類型	行政系施設	種別	消防施設
所在地	脇町別所字別所 2772 番地 3	総延床面積（㎡）	63.08

（２）施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積（㎡）	構造	建築年度	新・旧耐震基準 耐震化等工事
詰所	63.08	木造	平成 6 年度	新

（３）基本的な方針等

管理上の課題	本施設は、今後、消防団倉庫として使用するが、警鐘台は老朽化しており、幹線道路沿いに設置されていることから撤去する必要がある。
基本的な方針	計画的かつ適切な方法により維持管理を行う。
基本的な考え方	可能な限り長期間使用するため、施設に老朽化や劣化が確認されてから対応する事後保全ではなく、計画的な予防保全の考え方を導入し、今後適切な維持管理・修繕等を推進する。
計画期間	－

（４）現地画像

施設全景		施設内部 1 階	
施設内部 1 階		施設内部 2 階	

（１）施設概要

施設名称	脇町方面隊分団詰所（旧西部５分団）	所属課	消防本部
類型	行政系施設	種別	消防施設
所在地	脇町字井口 402 番地 1	総延床面積（㎡）	35.35

（２）施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積（㎡）	構造	建築年度	新・旧耐震基準 耐震化等工事
詰所	16.73	木造	昭和 57 年度	新
車庫	18.62	S 造	昭和 57 年度	新

（３）基本的な方針等

管理上の課題	老朽化が進んでいる状況である。
基本的な方針	譲渡や民間活用等の検討を行う。
基本的な考え方	本施設は、地元へ譲渡を行う。
計画期間	第 1 期マネジメント計画期間

（４）現地画像

施設全景		屋根	
軒天 天井板に破損あり		臭突管の破損あり	

（１）施設概要

施設名称	脇町方面隊分団詰所（旧西部 5）木の内	所属課	消防本部
類型	行政系施設	種別	消防施設
所在地	脇町木ノ内字大道南谷の西 4020 番地	総延床面積（㎡）	43.24

（２）施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積（㎡）	構造	建築年度	新・旧耐震基準 耐震化等工事
詰所	43.24	木造	昭和 48 年度	旧

（３）基本的な方針等

管理上の課題	老朽化が進んでいる状況である。
基本的な方針	除却等を行う。
基本的な考え方	本施設は、老朽化が著しいため、除却を行う。
計画期間	第 1 期マネジメント計画期間

（４）現地画像

施設全景		外壁に劣化あり	
屋根 屋根材に劣化・破損あり		施設内部	

（１）施設概要

施設名称	脇町方面隊分団詰所(旧西部７分団)	所属課	消防本部
類型	行政系施設	種別	消防施設
所在地	脇町野村字大道北 4223 番地 3	総延床面積（㎡）	107.00

（２）施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積（㎡）	構造	建築年度	新・旧耐震基準 耐震化等工事
詰所	107.00	木造	昭和 53 年度	旧

（３）基本的な方針等

管理上の課題	老朽化が進んでいる状況である。
基本的な方針	譲渡や民間活用等の検討を行う。
基本的な考え方	本施設は、地元へ譲渡を行う。
計画期間	第 2 期マネジメント計画期間

（４）現地画像

施設全景		軒天 天井板に劣化、設備に破損あり	
施設内部		台所	

（１）施設概要

施設名称	穴吹方面隊第１分団詰所	所属課	消防本部
類型	行政系施設	種別	消防施設
所在地	穴吹町三島字三谷 303 番地	総延床面積（㎡）	90.00

（２）施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積（㎡）	構造	建築年度	新・旧耐震基準 耐震化等工事
詰所	90.00	木造	平成 11 年度	新

（３）基本的な方針等

管理上の課題	施設や設備の一部に老朽化等が見受けられるものの、至急対応が必要な状況ではない。
基本的な方針	計画的かつ適切な方法により維持管理を行う。
基本的な考え方	可能な限り長期間使用するため、施設に老朽化や劣化が確認されてから対応する事後保全ではなく、計画的な予防保全の考え方を導入し、今後適切な維持管理・修繕等を推進する。
計画期間	－

（４）現地画像

施設全景		地盤に傾きあり	
車庫		施設内部 2 階	

（１）施設概要

施設名称	穴吹方面隊第２分団詰所	所属課	消防本部
類型	行政系施設	種別	消防施設
所在地	穴吹町穴吹字柏６番地３	総延床面積（㎡）	219.00

（２）施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積（㎡）	構造	建築年度	新・旧耐震基準 耐震化等工事
詰所	219.00	RC 造	昭和 50 年度	旧

（３）基本的な方針等

管理上の課題	老朽化が進んでいる状況である。
基本的な方針	施設の建て替え・複合化・集約化等の検討を行う。
基本的な考え方	本施設は、旧耐震基準による施設であり、老朽化が進んでいる。２階建ての施設のうち、１階の一部を詰所として使用している部屋以外は、廃墟のような状況である。そのため、耐震化への対応も兼ね施設の減築を検討する。
計画期間	第１期マネジメント計画期間

（４）現地画像

施設全景		屋上 防水材にたわみ・亀裂あり	
施設内部 １階		施設内部 ２階 電気設備の崩落、天井に漏水の痕跡あり	

（１）施設概要

施設名称	穴吹方面隊第 3 分団詰所	所属課	消防本部
類型	行政系施設	種別	消防施設
所在地	穴吹町口山字西山 129 番地	総延床面積（㎡）	86.00

（２）施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積（㎡）	構造	建築年度	新・旧耐震基準 耐震化等工事
詰所	86.00	木造	平成 19 年度	新

（３）基本的な方針等

管理上の課題	施設や設備の一部に老朽化等が見受けられるものの、至急対応が必要な状況ではない。
基本的な方針	計画的かつ適切な方法により維持管理を行う。
基本的な考え方	可能な限り長期間使用するため、施設に老朽化や劣化が確認されてから対応する事後保全ではなく、計画的な予防保全の考え方を導入し、今後適切な維持管理・修繕等を推進する。
計画期間	－

（４）現地画像

施設全景		施設外部 基礎部モルタルに剥離あり	
施設内部 1 階		施設内部 2 階	

（１）施設概要

施設名称	穴吹方面隊第 4 分団詰所	所属課	消防本部
類型	行政系施設	種別	消防施設
所在地	穴吹町口山字宮内 29 番地 1	総延床面積（㎡）	161.00

（２）施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積（㎡）	構造	建築年度	新・旧耐震基準 耐震化等工事
詰所	161.00	S 造	昭和 56 年度	大規模改修済み

（３）基本的な方針等

管理上の課題	本施設は、平成 27 年 3 月に宮内幼稚園の施設を大規模改修し、利活用している。そのため、今のところ課題は見当たらない。
基本的な方針	計画的かつ適切な方法により維持管理を行う。
基本的な考え方	可能な限り長期間使用するため、施設に老朽化や劣化が確認されてから対応する事後保全ではなく、計画的な予防保全の考え方を導入し、今後適切な維持管理・修繕等を推進する。
計画期間	－

（４）現地画像

施設全景		雨樋に破損あり	
施設内部		台所	

（１）施設概要

施設名称	穴吹方面隊第 4 分団車庫	所属課	消防本部
類型	行政系施設	種別	消防施設
所在地	穴吹町口山字宮内 29 番地 1、28 番地 5	総延床面積（㎡）	26.00

（２）施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積（㎡）	構造	建築年度	新・旧耐震基準 耐震化等工事
車庫	26.00	S 造	平成 27 年度	新

（３）基本的な方針等

管理上の課題	施設や設備の一部に老朽化等が見受けられるものの、至急対応が必要な状況ではない。
基本的な方針	計画的かつ適切な方法により維持管理を行う。
基本的な考え方	可能な限り長期間使用するため、施設に老朽化や劣化が確認されてから対応する事後保全ではなく、計画的な予防保全の考え方を導入し、今後適切な維持管理・修繕等を推進する。
計画期間	－

（４）現地画像

施設全景		施設内部	
施設内部		天井	

（１）施設概要

施設名称	穴吹方面隊第 5 分団車庫	所属課	消防本部
類型	行政系施設	種別	消防施設
所在地	穴吹町古宮字長尾 559 番地 1	総延床面積（㎡）	26.00

（２）施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積（㎡）	構造	建築年度	新・旧耐震基準 耐震化等工事
車庫	26.00	木造	平成 25 年度	新

（３）基本的な方針等

管理上の課題	施設や設備の一部に老朽化等が見受けられるものの、至急対応が必要な状況ではない。
基本的な方針	計画的かつ適切な方法により維持管理を行う。
基本的な考え方	可能な限り長期間使用するため、施設に老朽化や劣化が確認されてから対応する事後保全ではなく、計画的な予防保全の考え方を導入し、今後適切な維持管理・修繕等を推進する。
計画期間	－

（４）現地画像

施設全景		雨樋に詰まりあり	
施設内部		天井	

（１）施設概要

施設名称	穴吹方面隊分団詰所（旧市場詰所）	所属課	消防本部
類型	行政系施設	種別	消防施設
所在地	穴吹町字市場 254 番地付近	総延床面積（㎡）	17.60

（２）施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積（㎡）	構造	建築年度	新・旧耐震基準 耐震化等工事
詰所	17.60	CB 造	昭和 44 年度	旧

（３）基本的な方針等

管理上の課題	老朽化が著しく、また、現在使用されていない。
基本的な方針	除却等を行う。
基本的な考え方	老朽化が著しく、また、現在使用されていないため、除却を行う。
計画期間	第 1 期マネジメント計画期間

（４）現地画像

施設全景		屋根	

（１）施設概要

施設名称	穴吹方面隊分団詰所（旧初草詰所）	所属課	消防本部
類型	行政系施設	種別	消防施設
所在地	穴吹町口山字初草 174 番地 8	総延床面積（㎡）	13.95

（２）施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積（㎡）	構造	建築年度	新・旧耐震基準 耐震化等工事
詰所	13.95	木造	昭和 44 年度	旧

（３）基本的な方針等

管理上の課題	老朽化が著しく、また、現在使用されていない。
基本的な方針	除却等を行う。
基本的な考え方	老朽化が著しく、また、現在使用されていないため、除却を行う。
計画期間	第 1 期マネジメント計画期間

（４）現地画像

施設全景		施設内部	
天井		床材に破損あり	

（１）施設概要

施設名称	穴吹方面隊分団格納庫（旧調子野格納庫）	所属課	消防本部
類型	行政系施設	種別	消防施設
所在地	穴吹町口山字調子野 499 番地 7、499 番地 8	総延床面積（㎡）	23.00

（２）施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積（㎡）	構造	建築年度	新・旧耐震基準 耐震化等工事
格納庫	23.00	木造	昭和 58 年度	新

（３）基本的な方針等

管理上の課題	本施設は、老朽化は進んでおり、消防団としての使用もないが、地元から炭の保管倉庫として使用したいと要望があり貸出を行っている。
基本的な方針	計画的かつ適切な方法により維持管理を行う。
基本的な考え方	可能な限り長期間使用するため、施設に老朽化や劣化が確認されてから対応する事後保全ではなく、計画的な予防保全の考え方を導入し、今後適切な維持管理・修繕等を推進する。
計画期間	－

（４）現地画像

施設全景		雨樋に詰まり・植生あり	
外壁に破損あり		施設内部	

（１）施設概要

施設名称	穴吹方面隊分団詰所（旧古宮詰所）	所属課	消防本部
類型	行政系施設	種別	消防施設
所在地	穴吹町古宮字長尾 562 番地 2	総延床面積（㎡）	12.39

（２）施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積（㎡）	構造	建築年度	新・旧耐震基準 耐震化等工事
詰所	12.39	S 造	昭和 55 年度	旧

（３）基本的な方針等

管理上の課題	老朽化が進んでいる状況である。
基本的な方針	除却等を行う。
基本的な考え方	市民人権課と協議し、隣接する古宮出張所（古宮簡易郵便局）を除却する際、同時に除却を行う。
計画期間	第 1 期マネジメント計画期間

（４）現地画像

施設全景		雨樋に詰まり・植生あり	
施設内部		天井	

（１）施設概要

施設名称	穴吹方面隊分団詰所（旧小谷詰所）	所属課	消防本部
類型	行政系施設	種別	消防施設
所在地	穴吹町古宮字長尾 259 番地付近	総延床面積（㎡）	7.43

（２）施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積（㎡）	構造	建築年度	新・旧耐震基準 耐震化等工事
詰所	7.43	木造	昭和 44 年度	旧

（３）基本的な方針等

管理上の課題	老朽化が著しく、また、現在使用されていない。
基本的な方針	除却等を行う。
基本的な考え方	老朽化が著しく、また、現在使用されていないため、除却を行う。
計画期間	第 1 期マネジメント計画期間

（４）現地画像

施設全景		軒天 天井板に崩落あり	
施設内部		床材に亀裂あり	

（１）施設概要

施設名称	空野前進基地局	所属課	消防本部
類型	行政系施設	種別	消防施設
所在地	穴吹町穴吹字野山 10 番地	総延床面積（㎡）	10.00

（２）施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積（㎡）	構造	建築年度	新・旧耐震基準 耐震化等工事
基地局	10.00	S 造	平成 26 年度	新

（３）基本的な方針等

管理上の課題	施設や設備の一部に老朽化等が見受けられるものの、至急対応が必要な状況ではない。
基本的な方針	計画的かつ適切な方法により維持管理を行う。
基本的な考え方	可能な限り長期間使用するため、施設に老朽化や劣化が確認されてから対応する事後保全ではなく、計画的な予防保全の考え方を導入し、今後適切な維持管理・修繕等を推進する。
計画期間	－

（４）現地画像

施設全景		施設外部	
発電設備		施設内部	

（１）施設概要

施設名称	美馬市消防署木屋平出張所	所属課	消防本部
類型	行政系施設	種別	消防施設
所在地	木屋平字川井 170 番地 1	総延床面積（㎡）	236.80

（２）施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積（㎡）	構造	建築年度	新・旧耐震基準 耐震化等工事
美馬市消防署木屋平出張所	236.80	RC 造	昭和 46 年度	大規模改修済み

（３）基本的な方針等

管理上の課題	平成 28 年 3 月に改築されたため、今のところ課題は見当たらない。
基本的な方針	計画的かつ適切な方法により維持管理を行う。
基本的な考え方	可能な限り長期間使用するため、施設に老朽化や劣化が確認されてから対応する事後保全ではなく、計画的な予防保全の考え方を導入し、今後適切な維持管理・修繕等を推進する。
計画期間	－

（４）現地画像

施設全景 ※出張所は施設 1 階部分のみ		事務室	
仮眠室		車庫	

（１）施設概要

施設名称	木屋平消防団（旧川井格納庫）	所属課	消防本部
類型	行政系施設	種別	消防施設
所在地	木屋平字川井 323 番地 11	総延床面積（㎡）	126.00

（２）施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積（㎡）	構造	建築年度	新・旧耐震基準 耐震化等工事
格納庫	126.00	木造	昭和 25 年度	旧

（３）基本的な方針等

管理上の課題	以前は、徳島県土木事務所木屋平詰所として使用されていた。詰所の移転後は、住宅部分と消防団詰所兼格納庫として使用していたが、現在は空き家となっている。川井公衆便所と接しているため、担当部署と連携し同時期に対応するのが望ましい。
基本的な方針	除却等を行う。
基本的な考え方	老朽化が著しく、また、現在使用されていないため、除却を行う。
計画期間	第 1 期マネジメント計画期間

（４）現地画像

施設全景		施設内部 1 階車庫	
施設内部 2 階		施設内部 2 階	

（１）施設概要

施設名称	木屋平消防団（旧川上格納庫）	所属課	消防本部
類型	行政系施設	種別	消防施設
所在地	木屋平字川上 889 番地	総延床面積（㎡）	25.83

（２）施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積（㎡）	構造	建築年度	新・旧耐震基準 耐震化等工事
格納庫	25.83	木造	昭和 54 年度	旧

（３）基本的な方針等

管理上の課題	施設や設備の一部に老朽化等が見受けられるものの、至急対応が必要な状況ではない。
基本的な方針	計画的かつ適切な方法により維持管理を行う。
基本的な考え方	可能な限り長期間使用するため、施設に老朽化や劣化が確認されてから対応する事後保全ではなく、計画的な予防保全の考え方を導入し、今後適切な維持管理・修繕等を推進する。
計画期間	－

（４）現地画像

施設全景		施設外部 基礎部	
施設内部		天井	

（１）施設概要

施設名称	木屋平消防団（旧太合格納庫）	所属課	消防本部
類型	行政系施設	種別	消防施設
所在地	木屋平字太合 392 番地	総延床面積（㎡）	12.71

（２）施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積（㎡）	構造	建築年度	新・旧耐震基準 耐震化等工事
格納庫	12.71	木造	平成 14 年度	新

（３）基本的な方針等

管理上の課題	施設や設備の一部に老朽化等が見受けられるものの、至急対応が必要な状況ではない。
基本的な方針	計画的かつ適切な方法により維持管理を行う。
基本的な考え方	可能な限り長期間使用するため、施設に老朽化や劣化が確認されてから対応する事後保全ではなく、計画的な予防保全の考え方を導入し、今後適切な維持管理・修繕等を推進する。
計画期間	－

（４）現地画像

施設全景		施設外部 基礎部	
施設内部		天井	

（１）施設概要

施設名称	木屋平消防団（旧樫原格納庫）	所属課	消防本部
類型	行政系施設	種別	消防施設
所在地	木屋平字樫原 158 番地 1	総延床面積（㎡）	12.00

（２）施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積（㎡）	構造	建築年度	新・旧耐震基準 耐震化等工事
格納庫	12.00	木造	昭和 61 年度	新

（３）基本的な方針等

管理上の課題	本施設の敷地は、民地である。
基本的な方針	譲渡や民間活用等の検討を行う。
基本的な考え方	地元への譲渡を検討しているが、敷地が民地であるため、関係者との協議・調整の上、整理を行う。
計画期間	第 1 期マネジメント計画期間

（４）現地画像

施設全景		屋根 屋根材に発錆あり	
施設内部		天井	

（１）施設概要

施設名称	木屋平消防団（旧三ツ木格納庫）	所属課	消防本部
類型	行政系施設	種別	消防施設
所在地	木屋平字三ツ木 239 番地 1	総延床面積（㎡）	25.97

（２）施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積（㎡）	構造	建築年度	新・旧耐震基準 耐震化等工事
格納庫	25.97	S 造	平成 9 年度	新

（３）基本的な方針等

管理上の課題	施設や設備の一部に老朽化等が見受けられるものの、至急対応が必要な状況ではない。
基本的な方針	計画的かつ適切な方法により維持管理を行う。
基本的な考え方	可能な限り長期間使用するため、施設に老朽化や劣化が確認されてから対応する事後保全ではなく、計画的な予防保全の考え方を導入し、今後適切な維持管理・修繕等を推進する。
計画期間	－

（４）現地画像

施設全景		施設内部 基礎部	
施設内部		天井	

（１）施設概要

施設名称	大北前進基地局	所属課	消防本部
類型	行政系施設	種別	消防施設
所在地	木屋平字大北 267 番地 5	総延床面積（㎡）	17.00

（２）施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積（㎡）	構造	建築年度	新・旧耐震基準 耐震化等工事
基地局	17.00	RC 造	平成 26 年度	新

（３）基本的な方針等

管理上の課題	施設や設備の一部に老朽化等が見受けられるものの、至急対応が必要な状況ではない。
基本的な方針	計画的かつ適切な方法により維持管理を行う。
基本的な考え方	可能な限り長期間使用するため、施設に老朽化や劣化が確認されてから対応する事後保全ではなく、計画的な予防保全の考え方を導入し、今後適切な維持管理・修繕等を推進する。
計画期間	－

（４）現地画像

施設全景		施設外部	
発電設備		施設内部	